

30 血液浄化センター



血液浄化センターは17台の透析ベッドを有しており、入院患者・外来透析患者の血液浄化療法を広く担当している。13名の医師が診療に従事しており、その多くが日本内科学会・日本腎臓学会・日本透析医学会の定めた専門医・指導医の認定資格を有し高度な医療の提供に努めている。メディカルスタッフに関しては、専属の看護師が10名、臨床工学技士が2名配属されており、より多様化する疾患や重篤な症例に対して安全で質の高い血液浄化療法・看護の提供に従事している。

28年度の実績として血液浄化実施総数は6,269件（患者数6,231人）であった。通常血液透析総数は5,387件、血液濾過透析（HDF）、ECUM、出張透析、血漿交換、二重濾過血漿交換（DFPP）、血液・血漿吸着、腹水濃縮等の特殊血液浄化総数は882件であった。本年度の業績は昨年度に比べ、特殊血液浄化総数は減少（特に血液濾過透析）したが、一方で通常透析総数は増加し、結果として血液浄化総数はやや上回った。

30-1 年度別透析延患者数 (人)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)
入院	5,290	5,416	5,677	5,208	5,240	84.1
外来	1,004	906	895	927	991	15.9
合計	6,294	6,322	6,572	6,135	6,231	100.0

30-2 年度別透析導入患者数 (人)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)
定時透析	6,084	6,118	6,364	5,870	6,006	96.4
緊急透析	210	204	208	265	225	3.6
(うち導入)	(65)	(79)	(80)	(87)	(69)	(1.1)
合計	6,294	6,322	6,572	6,135	6,231	100.0

30-3 年度別特殊透析延患者数 (人)

区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)
血液濾過透析	258	379	582	503	97	11.0
(うち緊急)		(2)	(6)	(8)		
血漿交換	121	63	115	144	131	14.9
(うち緊急)	(3)	(11)	(21)	(34)	(37)	(4.2)
二重濾過血漿交換	24	22	60	41	49	5.6
(うち緊急)	(7)		(3)	(2)	(3)	(0.3)
腹水濃縮	3	7	14	23	19	2.2
(うち緊急)	(2)	(4)	(1)	(7)	(7)	(0.8)
血液吸着	102	108	91	94	88	10.0
(うち緊急)	(5)		(3)	(4)	(5)	(0.6)
血漿吸着	135	149	161	138	57	6.5
(うち緊急)	(1)	(2)	(6)	(6)	(1)	(0.1)
出張透析	183	158	328	304	215	24.4
(うち緊急)	(25)	(24)	(35)	(49)	(34)	(3.9)
ECUM	163	172	179	216	226	25.6
(うち緊急)	(5)	(15)	(8)	(25)	(21)	(2.4)
合計	989	1,058	1,530	1,463	882	100.0
(緊急合計)	(48)	(58)	(83)	(135)	(108)	(12.2)

30-4 年度別腎臓病教室出席患者・家族数

(人)

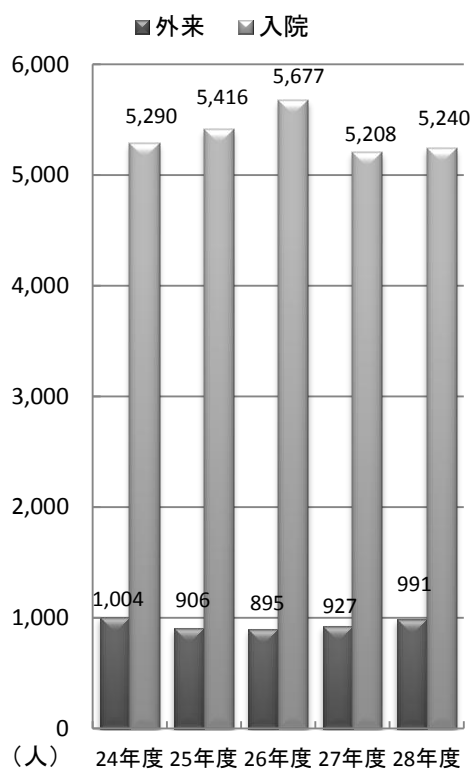
区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)
実患者数	41	28	28	28	46	74.2
実家族数	20	22	22	22	16	25.8
合計	70	75	61	50	62	100.0
延患者数	155	158	102	97	163	78.0
延家族数	60	40	36	42	46	22.0
合計	215	198	138	139	209	100.0

30-5 年度別腹膜透析患者数

(人)

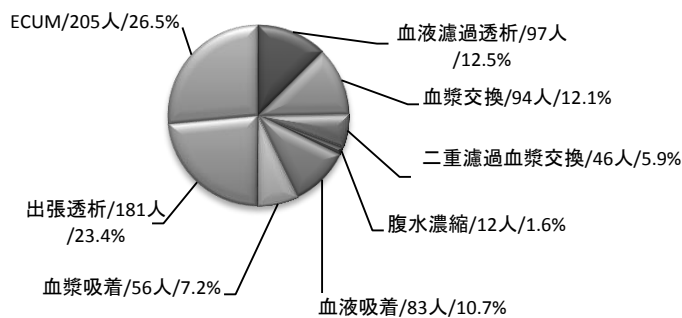
区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	28年度 構成比率(%)
導入	2	4	4	4	3	1.9
外来	108	152	188	184	157	98.1
合計	749	110	156	192	160	100.0

30-6 透析延患者数の年度別推移



30-7 28年度特殊透析延患者数の構成比率

● 予定：774人



● 緊急：108人

